

2024 年度 認定医申請のご案内 (新規)

I. 乳腺認定医新規申請資格

- ・ 日本国の医師免許証を有すること
- ・ 2020 年 1 月 31 日までに入会し、継続 4 年以上本学会会員であること
- ・ 会費を完納していること
- ・ 臨床研修終了後、日本専門医機構が認定した乳腺外科カリキュラムの基幹・連携施設、もしくは本学会が認定した認定・関連施設において所定の研修カリキュラムに従い、常勤医もしくはそれに準ずる勤務体制で通算 2 年以上修練を行っていること
※非常勤の場合は、常勤に準ずる勤務である旨の勤務証明書が必要
- ・ 基幹・連携施設、もしくは認定・関連施設において、認定を受ける専門分野の症例で通算 40 例以上の乳癌症例の診療経験があること（専門分野とは、手術療法、薬物療法、画像診断、放射線治療の中から認定を受ける分野）
- ・ 1 編以上の乳腺疾患に関する筆頭論文、または本学会の学術総会もしくは地方会で筆頭発表の 2 件以上の研究業績があること
- ・ 研修実績として、3 年以内の本学会総会の 1 回以上参加、および 5 年以内の乳腺専門医・認定医セミナーの受講があること

II. 申請期間

2023 年 12 月 1 日～2024 年 1 月 31 日 23 : 59

申請書類はデータにてご提出していただくこととなりました。郵送での申請を希望される場合は別途手数料 5,000 円が必要となります。詳細は V.提出方法にてご確認ください。締め切り直前の問い合わせには対応できないことがありますので、日数に余裕をもって申請してください。尚、申請期間を過ぎての申請は受理できません。

III.提出書類

作成にあたっての注意事項

- ・虚偽の記載が判明した場合には、申請者及び施設の認定を遡って停止となる可能性があります
- ・専門分野として、手術療法、薬物療法、画像診断、放射線治療の4分野に分けて認定します
- ・旧書式による申請書類は受け付けません、最新版をダウンロードしてください
- ・必ず手元に申請書類を保管してください
事務局より、申請書類について問い合わせをする可能性があります
- ・Excelのまま提出するものとPDFにして提出するものがあります（Ⅷ.参照）
いずれもⅧチェックリストにあるファイル名にして提出してください

- 1) 乳腺認定医(新規)申請書
- 2) 医師免許証(写)
- 3) 2004年以降の医師免許取得者は臨床研修修了証(写)
- 4) 基幹・連携施設もしくは認定・関連施設での修練修了証明書
 - ・非常勤の場合は常勤に準ずる勤務である旨の施設長による勤務証明書を添付(書式自由 但し、勤務形態等、常勤に準ずる勤務と判断した根拠を記載のこと)
- 5) 研究業績一覧
 - ・乳腺疾患に関する研究業績が下記①～②のいずれか1つを満たしていること
 - ① 査読を伴う学術雑誌に、筆頭者として乳腺疾患に関する原著あるいは症例報告を1編以上
 - ② 本学会の学術総会もしくは地方会で筆頭発表2件以上
 - ・以下のような証拠となる業績のコピーを添付
著者・発表者としての自身の氏名を赤丸で囲むこと
申請書類のチェックを円滑に進めるためをお願いします

【論文】

- ・論文の題名・所属・発表者名・論文全ページ
※2024年1月31日の締め切りまでにアクセプトされ、掲載予定の論文は掲載証明書の提出と論文原稿があれば認める
- ・学術誌、医学誌であること(病院誌・商業誌不可)

【学会発表】

- ・抄録集に掲載の抄録ページ
過去の乳癌学会学術総会の抄録については、会員専用ページにて閲覧可能

6) 研修実績一覧

- ・3年以内の本学会の総会1回以上の参加があること（但し今年度は移行期の為、参加回数0でも可）
- ・本学会教育・研修委員会主催の乳腺専門医・認定医セミナーの5年以内（2019年以降）の受講証明があること
- ・上記実績の証明として、総会参加証・セミナー受講証を添付すること
総会参加証は、日本外科学会等の学会参加情報の照会ページのPDF添付でも可

7) 診療経験

- ・手術療法、薬物療法、画像診断、放射線治療の中から認定を受ける分野において、40例以上の乳癌症例の診療経験があること
- ・乳癌の確定診断のついた症例のみ記載すること（良性・疑いは不可）
- ・画像診断、放射線治療、薬物療法を選択した場合は、乳癌症例記録に詳細なレポート10例との診療経験目録30例を提出する

各診療領域の条件については、以下の通り定める

【手術療法】

- ・NCD検索システムより抽出した症例数を、修練した施設ごとに記載する
- ・NCD登録（承認済み）が条件のため、NCD検索システムより施設・術式ごとに抽出したリストを提出する
2024年1月までの症例を提出できるが、2023年1月以降に経験したNCD未承認症例は、診療経験目録に病院長による証明が必要
- ・NCD登録が行われていない2012年以前の症例、または2023年NCD未登録症例は別途、乳癌症例の診療経験目録(手術療法)を記載する
- ・症例は術者に限る（助手は不可）

【画像診断】

- ・乳癌症例記録(画像診断)には、初診年月・診断手技・病理組織診断確認日・病理組織診断名の記載が必須、最初の10症例は、記載例に倣い、画像診断の詳細（所見やカテゴリー診断など）および診療内容を記載すること
- ・経験症例には、組織診断による癌の診断確定を得ていることが必要（細胞診による診断は不可）
*申請者自らが針生検などにより病理組織診断を行わなくても、最終的に”組織診断による乳癌の確定診断を得ていること”のフィードバックを受け、自らの画像診断の精度管理を行っていれば、この要件をクリアしていると判断します
- ・再発・転移に対する診断は認めない

【放射線治療】

- ・乳癌症例記録(放射線治療)には、初診年月・原発、再発/転移・病理組織診断名・術式・照射部位・照射期間・照射線量の記載が必須、最初の 10 症例は、記載例に倣い診療内容も記載すること

【薬物療法】

- ・乳癌症例記録(薬物療法)には、初診年月・病理組織診断名・HR・HER2・治療ライン(術前/術後/進行転移再発)・レジメ、薬剤名・投与期間の記載は必須。最初の 10 症例は、記載例に倣い診療内容も記載すること(10 症例中、5 例以上転移再発症例を必須とする)
- ・この症例記録では、転移再発症例での治療経験を 40 例中 10 例以上提出すること
- ・周術期薬物療法の症例は、殺細胞性抗癌薬に限る。(ホルモン療法・分子標的治療のみ及びその併用は不可^{*1}) また、初回投与開始症例のみに限る。
※術前化学療法 A を行い、術後治療 B を行った場合でも、1 例と扱い、別個に掲載しない、つまり治療レジメをダブルカウントしないこと。

^{*1} HER2 陽性乳癌における T-DM1 のみは不可(術前治療からの担当が必須)。

また、Olaparib+ホルモン治療、Abemaciclib+ホルモン療法も、基本ハイリスクなので化学療法からの担当が必須。化学療法を実施しない場合はその理由根拠が明確であれば可。

- ・転移再発症例は、初回投与に限らず提出可能であるが、同一患者で提出可能なのは 1 レジメまでとする。(同一患者において治療の継続やレジメの変更で提出することは不可) レジメは転移再発乳癌に保険適用となっている治療法であれば、その種類を問わず申請可能である。(殺細胞抗癌薬のみに限定しない) 臨床試験や治験症例であれば保険適用外例も可とする。

《申請書類における患者個人情報の保護について》

- ・申請書類入力にあたっては、個人が特定出来ないよう施設の個人情報取り扱いに関する規定を順守すること
- ・施設監査を行った際にスムーズに診療録や手術記録とつき合わせ確認出来るようにしておくこと

IV.申請手数料について

申請手数料：10,000 円

【郵便局からのお振込】

口座記号番号：00170-5-404708

加入者名：日本乳癌学会専門医制度委員会

【銀行、ネットバンキングからのお振込】

銀行 支店：ゆうちょ銀行 019 支店

預金種：当座預金

口座番号：0404708

名義人名：日本乳癌学会専門医制度委員会

申請前に必ず申請手数料のご入金をお願いいたします

※振込の際、可能であれば通信欄に「認定医新規申請料」とご記入ください

なお、既納の申請手数料は、いかなる理由があっても返却いたしません

V.提出方法

zip ファイルにして、以下のサーバーにアップロードしてください。

<https://jbcs.xdrive.jp/index.php/s/pZBtFcJNM9pTej4>

詳しい申請方法については、別途「申請手順」をご確認下さい

Excel のまま提出するものと PDF にするものがありますので、VIII.チェックリストにてご確認ください

申請書類と申請料の入金確認が完了次第、受領メールを送信いたします

申請時期により、確認に2週間程度かかる場合もありますので、ご了承ください

<データでの提出が難しい場合>

データでの提出がどうしても難しい場合は、郵送での提出を受付けます

郵送で提出する場合は別途 5,000 円の手数料が必要となりますので、申請料 15,000 円（申請料 10,000 円+手数料 5,000 円）をご入金いただき、配達記録が残る簡易書留、レターパック等で事務局宛にお送りください（2024 年 1 月 31 日必着）

郵送にて提出される場合は一部を郵送ではなく、全ての申請書類を郵送でお送りください。

〒103-0027

東京都中央区日本橋 3-8-16 ぶよおビル 3F

日本乳癌学会 宛

VI.審査結果について

合否通知は申請書に記載いただいた送付先に郵送いたします

合格者には認定料(40,000 円)の入金確認ができ次第、認定証を発送いたします

VII.問合せ先

日本乳癌学会事務局 office@jbcs.gr.jp

申請要件に確認事項がある場合は、ご遠慮なく事務局までお問合せください。

なお、正確を期すために、電話でのお問い合わせはお控えください

VIII.チェックリスト

① 乳腺認定医(新規)申請書

⑤ 研究業績一覧

⑥ 研修実績一覧

<ファイル名>ns_1.5.6_氏名

※Excel のままでひとつのファイルで申請

申請書のフォーマットのまま、PDF にしたシートや選択しなかった領域のシートは
削除せず空白のまま提出

② 医師免許証 (写)

③ 臨床研修修了証 (写、2004 年以降の医師免許取得者)

<ファイル名>ns_2.3_氏名

※②と③の証明書をまとめて一つの PDF にして申請

④ 基幹・連携施設 / 認定・関連施設修練修了証明書

<ファイル名>ns_4_氏名

※公印をもらった後、④を PDF にして申請 ※施設ごとの証明が必要

非常勤の場合、常勤に準ずる旨の勤務証明書も合わせて一つの PDF にする

⑦ 診療経験目録または症例記録

<ファイル名>ns_7_氏名

※公印をもらった後、⑦を PDF にして申請 ※施設ごとの証明が必要

研究業績一覧の添付書類として

論文のコピー

<ファイル名>ns 論文_氏名

学会発表等の抄録

<ファイル名>ns 発表_氏名

※論文、抄録は論文と抄録に分け PDF にて申請
(どちらか一方の提出で結構です)

研修実績一覧の添付書類として

日本乳癌学会学術総会参加証

乳腺専門医・認定医セミナー受講証

<ファイル名>ns 参加証_氏名

※参加証、受講証をまとめて一つの PDF にして申請

ご留意ください

押印箇所に押印がない、提出する書類が添付されていない等の基本的な不備は、
委員会における審査で不合格となる場合もございます。

申請前に必ず書類をご確認ください。